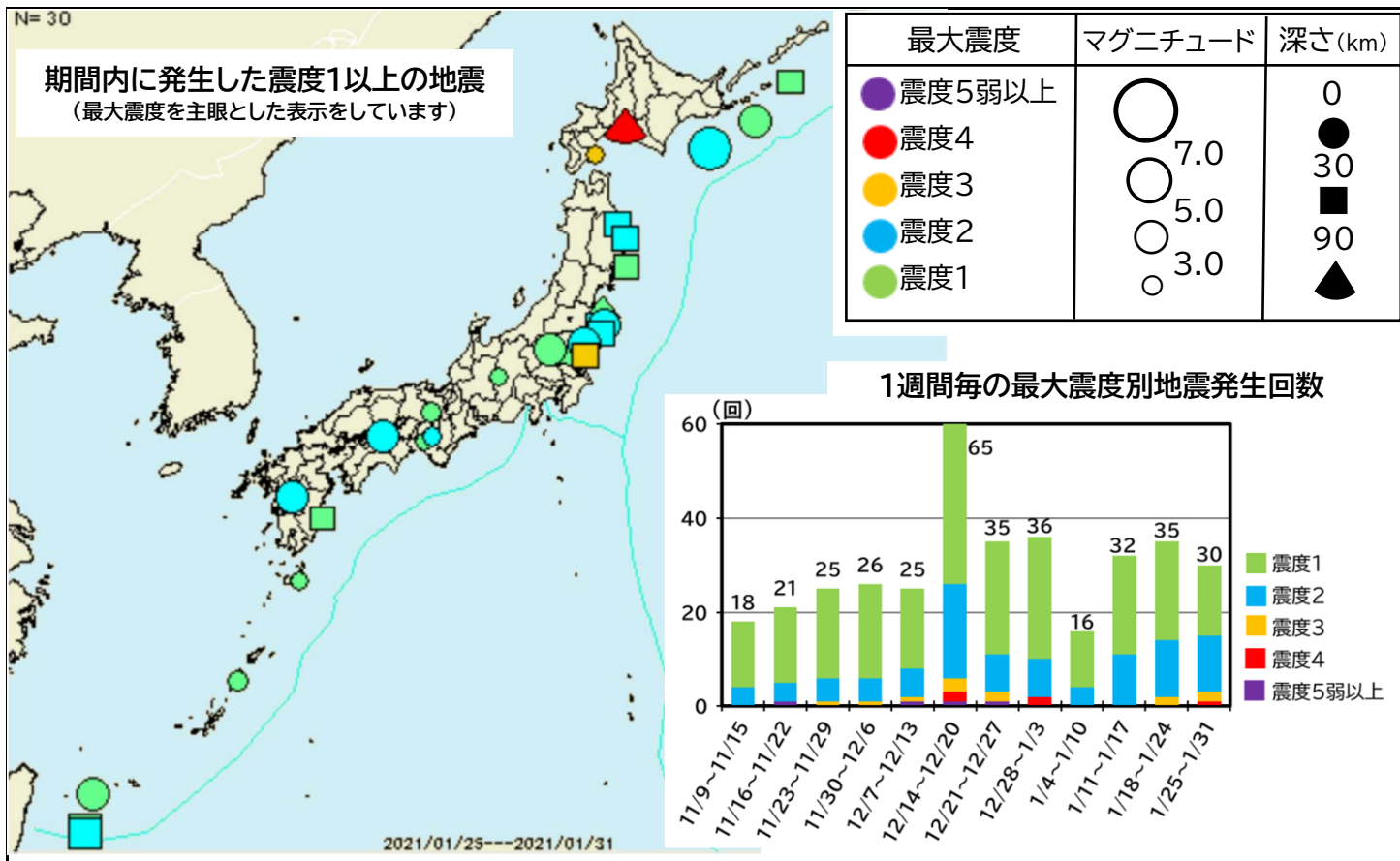


この期間の最大震度は4

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況

- この期間、震度1以上の地震が30回発生。最大震度は4■
- ・27日14時06分に胆振地方中東部で発生した地震(M5.4、深さ128km)により、北海道新冠町で震度4を観測したほか、北海道から宮城県にかけて震度3~1を観測。この地震は、北海道に沈み込んでいる太平洋プレート内部で発生したもので、H30年の胆振東部地震とほぼ同じ場所で発生したが別地震(トピックス参照)。
- ・27日17時45分内浦湾で発生した地震(M2.7、深さ8km)により函館市で震度3を観測。この付近は定常的な地震活動が見られる所で、H28年6月に函館市で震度6弱を観測したM5.3の地震が発生している。

トピックス

■ 様々な深さで発生する地震 ■

- ・27日14時06分に胆振地方中東部で震度4を観測した地震は、H30年に大きな被害を伴った胆振東部地震の余震かと思いましたが、地震が発生した深さが大きく違う別グループの地震です。
- ・H30の胆振東部地震と27日の地震の両者間の距離は、図1のとおり3km弱の近い場所で発生しました。
- ・しかし、地震が発生した深さは図2のとおり大きく異なっています。
- ・北海道等で発生する地震は、図2のように3つのタイプに大別されます。
 - ①陸域のプレート内の地震:比較的地表に近い場所で起こる地震で、M6前後以上の地震が発生した場合、大きな被害を伴う。H30年9月に発生した胆振東部地震などがこのタイプ。
 - ②沈み込んだ太平洋プレート内の地震:地下深くに沈み込んだ太平洋プレートの内部で発生する地震。27日の地震がこのタイプ。H5年1月15日に発生した釧路沖地震もこのタイプ。
 - ③プレート境界の地震:陸域のプレート(北米プレート)と太平洋プレートの境界部分の跳ね上がりにより発生する地震で、しばしば大きな津波を伴う。H15年十勝沖地震や、発生が想定されている千島海溝沿いの巨大地震がこのタイプの地震。

